

事業シート(令和2年度決算)

41\_文化財課\_1

事業名	94700 市内遺跡発掘調査事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用			
			項	4	社会教育費		根拠計画画		教育振興基本計画			
			目	7	文化財費							
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2355									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋蔵文化財を保護し次代に伝える。</li> <li>県指定史跡の国指定への格上げ</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発事業により影響を受ける埋蔵文化財を記録保存する。</li> <li>保存活用の必要な遺跡の内容を確認する。</li> <li>国指定に向けた調査の実施</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	75.7%	74.3%	↗
国・県指定・登録文化財の件数	176件	176件	190件

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		2,180	1,743	1,900	1,900	1,674	△ 69
特定財源	国費 (埋蔵文化財発掘調査事業費1/2)	1,090	861	950	950	808	△ 53
	県費 ( )						
	その他( )						
一般財源		1,090	882	950	950	866	△ 16
個票枝番	主な事業内容						
	試掘・範囲確認調査、整理	1,870	1,644	530	530	673	△ 971
	松倉城跡・広瀬城跡等の国指定に向けた調査			1,280	1,280	937	937

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

		R3予算	実施計画額	3,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
15,043	8,690	8,690	6,790	
7,521	4,330	4,330	3,380	
7,522	4,360	4,360	3,410	
査定額	説明			
1,030				
7,570				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>古館遺跡、大首遺跡、松ヶ坪遺跡等の試掘等確認調査の実施</li> <li>松倉城跡の確認調査の実施</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発事業に伴う埋蔵文化財包蔵地の照会対応、試掘調査等を実施し、埋蔵文化財保護を推進した。</li> <li>松倉城跡の国指定に向けた確認調査を実施した。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発に対応するため、継続して事業を実施する。</li> <li>松倉城跡等の国指定に向けた取り組みを行う。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>三仏寺廃寺跡、後山遺跡の試掘等確認調査の実施</li> <li>松倉城跡の確認調査の実施</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発事業に伴う埋蔵文化財包蔵地の照会対応、試掘調査等を実施し、埋蔵文化財保護を推進した。</li> <li>松倉城跡の国指定に向けた確認調査を実施した。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発に対応するため、継続して事業を実施する。</li> <li>松倉城跡等の国指定に向けた取り組みを行う。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発事業などに対応するための緊急目的の発掘調査に必要な経費を計上</li> <li>調査指導委員会の指導等による松倉城跡の発掘調査に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度決算)

事業名	94710 歴史資料購入事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	7	文化財費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2977							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・郷土に関わる歴史資料の流失、散逸を防ぐとともに、市民の郷土学習に役立てる。	概要	・郷土に関わる歴史資料を購入する。
----	--	----	-------------------

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	75.7%	74.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	1,369	1,369	1,000	4,240	4,134	2,765	
特定財源							
国費( )							
県費( )							
その他( )							
一般財源	1,369	1,369	1,000	4,240	4,134	2,765	
個票枝番	主な事業内容						
	歴史資料等の購入	1,369	1,369	1,000	4,240	4,134	2,765

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
1,000	1,000	1,000	0
1,000	1,000	1,000	0
査定額	説明		
1,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・郷土に関わる歴史資料の購入 購入資料件数 6件 流出、散逸を防いだ件数 6件
評価等	・郷土に係る貴重な資料の流出、散逸が防がれ、公有化により展示公開や研究等への活用がなされた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> H31完了</li> <li><input type="checkbox"/> R2完了予定</li> </ul>

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・郷土に関わる歴史資料の購入 購入資料件数 3件 流出、散逸を防いだ件数 3件 ・土地の公有化 広瀬城跡用地の買戻し 1件
評価等	・郷土に係る貴重な資料の流出、散逸が防がれ、公有化により展示公開や研究等への活用がなされた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R2完了</li> <li><input type="checkbox"/> R3完了予定</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	・郷土の歴史資料の購入に必要な経費を計上
---------------------	----------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和2年度決算)

事業名	94720 文化財保護事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で文化財を保存活用する活動を支援し、文化財の保存を図る。</li> <li>文化財保護行政の円滑な執行</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財保存団体に対する助成</li> <li>史跡や伝承芸能の保存団体の運営・活動に対する助成</li> <li>文化財関係の協議会等への参加</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	75.7%	74.3%	↗
国・県指定・登録文化財の件数	176件	176件	190件

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	10,646	9,145	12,175	12,175	11,362	2,217	
特定財源							
国費( )							
県費(無形文化遺産伝承事業費1/2、県移譲事務交付金)	1,085	1,197	1,197	1,197	1,123	△ 74	
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	100	100	100	100	100	0	
一般財源	9,461	7,848	10,878	10,878	10,139	2,291	
個票枝番	主な事業内容						
	文化財保護団体の保存活動事業に対する助成	7,379	6,377	8,908	8,908	8,628	2,251
	無形文化遺産伝承事業補助金	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		12,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
14,274	14,175	14,175	2,000	
1,085	1,123	1,123	△ 74	
13,189	13,052	13,052	2,174	
査定額	説明			
10,612				
2,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助件数 56件</li> <li>伝統的建造物群保存地区保存会 11団体</li> <li>高山祭屋台管理 1団体</li> <li>からくり屋台管理技術伝承保存 1団体</li> <li>高山祭屋台保存技術後継者育成 1団体</li> <li>伝承芸能保存団体 19団体</li> <li>市指定文化財管理 2団体</li> <li>史跡保存団体 12団体</li> <li>国指定文化財管理 8団体</li> <li>無形文化遺産保存団体 1団体</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝承芸能の継承や史跡の整備など、活動団体の積極的な文化財保護活動が行われ、多くの活動団体に利用されている。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>保存団体と意見交換を行い、情報提供を行うなどの連携を図る。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助件数 58件</li> <li>伝統的建造物群保存地区保存会 11団体</li> <li>高山祭屋台管理 1団体</li> <li>からくり屋台管理技術伝承保存 1団体</li> <li>高山祭屋台保存技術後継者育成 1団体</li> <li>高山祭屋台保存修理技術研修事業・修得 1社、1名</li> <li>伝承芸能保存団体 19団体</li> <li>市指定文化財管理 2団体</li> <li>史跡保存団体 12団体</li> <li>国指定文化財管理 8団体</li> <li>無形文化遺産保存団体 1団体</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝承芸能の継承や史跡の整備など、活動団体の積極的な文化財保護活動が行われ、多くの活動団体に利用されている。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>保存団体と意見交換を行い、情報提供を行うなどの連携を図る。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域文化継承への支援に必要な経費を計上</li> <li>伝承芸能保存団体等に対する助成に必要な経費を計上</li> <li>高山祭屋台の保存技術研修事業に対する助成に必要な経費を計上</li> </ul>
財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおりに</li> </ul>

事業シート(令和2年度決算)

事業名	94725 指定文化財保存修理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	7	文化財費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・国・県・市指定文化財を保護し次代に伝える。	概要	・指定文化財の保存修理に対する助成
----	------------------------	----	-------------------

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	75.7%	74.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	5,100	5,077	13,000	13,000	12,466	7,389
特定財源						
国費(国指定文化財修理事業費1/2)						
県費(県指定文化財修理事業費2/3)			1,430	1,430	1,430	1,430
その他						
一般財源	5,100	5,077	11,570	11,570	11,036	5,959
個票枝番	主な事業内容					
	指定文化財の保存修理事業に対する助成					
	市指定文化財の保存修理					
	4,600	4,593	10,100	10,100	9,751	5,158
	国指定文化財の保存修理					
	500	484	700	700	570	86
	県指定文化財の保存修理					
			2,200	2,200	2,145	2,145

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		10,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
9,421	3,140	3,140	△ 9,860	
1,100	1,100	1,100	1,100	
			△ 1,430	
8,321	2,040	2,040	△ 9,530	
査定額	説明			
940				
2,200				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>保存修理に対する助成</li> <li>・市指定文化財 岩井神社本殿、角正、芳国舎洪草陶磁器製造所、一色白山神社拝殿</li> <li>・国指定文化財 飛騨国分寺の大イテョウ</li> </ul>
評価等	・各文化財の状態を把握し、優先順位を決め、計画的に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修理等に対する文化財所有者のニーズは大きく、今後も事業を継続する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>保存修理に対する助成</li> <li>・市指定文化財 旧豊坂家住宅、大隆寺弁天堂、法正寺の枝垂桜、一里塚</li> <li>・県指定文化財 榎本神社のスキ</li> <li>・国指定文化財 治郎兵衛のイチイ</li> </ul>
評価等	・各文化財の状態を把握し、優先順位を決め、計画的に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・修理等に対する文化財所有者のニーズは大きく、今後も事業を継続する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・指定文化財の存続のための保存修理に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度決算)

事業名	94750 伝統的建造物群保存地区保存事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝建地区内における伝統的な景観を維持する。	概要	・伝建地区内における伝建物の修理及び非伝建物の修景事業に対する助成等
----	------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	75.7%	74.3%	↗
重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景の実施済割合	68.7%	71.8%	90%

2.事業の実施結果等(Do)

		H31			R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		40,500	30,608	40,500	40,500	32,446	1,838
特定財源	国費( 伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2 )	20,000	15,053	20,000	20,000	15,973	920
	県費( )						
	その他( 寄附金(ふるさと納税) )					12,704	12,704
一般財源		20,395	15,555	20,500	20,500	3,769	△ 11,786
個票枝番	主な事業内容						
	伝統的建造物群保存地区修理修景事業に対する助成	39,900	30,011	39,900	39,900	31,900	1,889

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		40,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
40,500	30,600	30,600	△ 9,900	
20,000	15,000	15,000	△ 5,000	
20,500	15,600	15,600	△ 4,900	
査定額	説明			
30,000	伝統的建造物群保存地区保存条例に基づく補助			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・修理、修景に対する助成 5件
評価等	・保存計画に基づき修理・修景を行い、町並み景観の整備を推進した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定
	・保存計画に基づき、今後も継続実施する。

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・修理、修景に対する助成 6件
評価等	・保存計画に基づき修理・修景を行い、町並み景観の整備を推進した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
	・保存計画に基づき、今後も継続実施する。

担当課 予算要求 ポイント	・歴史的町並保存の推進に必要な経費を計上 ・伝統的建造物群保存地区保存対策に対する助成に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度決算)

事業名	94755 伝統的建造物群保存地区防災対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝建地区を災害に強い町並とするために、伝建地区の土蔵の修理や防災設備の整備を継続して実施し、防火能力の向上を図る。	概要	・伝建地区内の土蔵等修理事業に対する補助、防災設備の整備等
----	--	----	-------------------------------

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	75.7%	74.3%	↗
重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景の実施済割合	68.7%	71.8%	90%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31		R2				増減 (b)-(a)
	最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)		
	40,055	40,055	40,200	40,200	29,668	△ 10,387	
特定財源							
国費 ( 伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2 )	20,027	20,027	20,000	19,900	14,741	△ 5,286	
県費 ( )							
その他 ( 寄附金(ふるさと納税) )					12,704	12,704	
一般財源	20,626	20,573	20,300	20,300	2,223	△ 17,805	
個票枝番	主な事業内容						
	伝統的建造物群保存地区防災対策事業(土蔵修理)に対する助成	40,055	40,055	35,400	35,400	25,598	△ 14,457
	高山市政記念館耐震補強工事			4,500	4,500	3,790	3,790

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		140,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)	
158,974	148,890	148,890	108,690	
79,097	74,100	74,100	54,100	
79,877	74,790	74,790	54,490	
査定額	説明			
30,000	伝統的建造物群保存地区保存条例に基づく補助			
118,550				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・土蔵等修理事業への補助 6件
評価等	・保存計画や防災計画、様々な伝建地区の調査報告などを基に保存修理を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定 ・保存計画、防災計画に基づき、今後も継続して実施する。 ・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルの普及・啓発を進める。

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・土蔵等修理事業への補助 6件 ・高山市政記念館耐震補強工事に係る設計
評価等	・保存計画や防災計画、様々な伝建地区の調査報告などを基に保存修理及び防災整備を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定 ・保存計画、防災計画に基づき、今後も継続して実施する。 ・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルの普及・啓発を進める。

担当課 予算要求 ポイント	・歴史的町並保存の推進に必要な経費を計上 ・伝統的建造物群保存地区保存対策に対する助成に必要な経費を計上 ・高山市政記念館耐震補強工事に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度決算)

事業名	94757 伝統的建造物群保存地区拡大事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・優れた歴史的景観を後世に残すとともに、市民による地域の歴史遺産に対する誇りと愛着を高める。また、国の支援を得て保存整備と活用を図る。	概要	・伝統的建造物群保存地区の拡大に向けた町並み調査の実施 ・国への選定申し出に必要な手続き
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
保存対策調査、選定	-	調査実施	伝建選定

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H31		R2			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
				3,100	3,100	1,695	1,695
特定財源	国費( 伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2 )			1,500	1,500	847	847
	県費( )						
	その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )			700	700	700	700
一般財源				900	900	148	148
個票枝番	主な事業内容						
◎1	伝統的建造物群保存地区拡大調査			3,100	3,100	1,695	1,695

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
3,100	3,100	3,100	0
1,550	1,500	1,500	0
		1,000	300
1,550	600	600	△ 300
査定額	説明		
3,100			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・寺町空町町並み保存対策調査の実施 [新型コロナウイルス感染症の影響により調査の一部を翌年度に延期]
評価等	・町並みの外観目視調査と寺社の実測調査を中心に行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により当初予定していた調査等が実施できなかったため、文化庁と協議の上で事業期間を延長する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・伝統的建造物群保存対策調査に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

## 主要事業個票(令和2年度決算)

事業名	94757 伝統的建造物群保存地区拡大事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 文化財課
枝番・内容	1 伝統的建造物群保存地区拡大調査		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		4	社会教育費	内線	2354	
		<input type="checkbox"/>		目		7	文化財費	作成年月	R3.8	

## 事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財保護法に基づく保存対象となることにより、優れた歴史的景観を後世に残す。</li> <li>国の文化財として認められることで、市民による地域の伝統文化に対する愛着を高める。</li> <li>国の支援を得て保存整備と活用を進める。</li> </ul>	概要	・伝統的建造物群保存地区の拡大を目指し、町並み調査の実施、国への選定申し出に必要な手続きを進める。
----	---	----	---

## 【参考】H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

## 【参考】R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	3,100
主な経費	・伝統的建造物群保存対策調査	
	対前年度増減額(当初予算)	
		3,100

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

## R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	3,100
	繰越	0
	補正等	0
	最終	3,100
決算額		1,695
対前年度増減額(決算)		1,695

## R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	3,100
主な経費	・伝統的建造物群保存対策調査	
	対前年度増減額(当初予算)	
		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>寺町空町町並み保存対策調査の実施(現地調査3回)</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた調査や地元説明会の実施が困難となった。</li> </ul> <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町並みの外観目視調査と寺社の実測調査を中心に行った。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、当初の計画どおりに事業実施ができなかったため、文化庁と協議の上で事業期間を延長する必要がある。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容 大学等研究機関に委託し、町並み保存対策調査を実施する。その結果を踏まえ、対象地域の中から保存地区を決定する。</li> <li>対象地域 高山市大門町、桜町、下一之町、鉄砲町、若達町、愛宕町、天性寺町、宗猷寺町、吹屋町、堀端町、馬場町 他</li> </ul> <p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R2~R3 調査事業</li> <li>R4~R5 住民説明、選定申し出手続き</li> <li>R6 選定告示</li> </ul>	

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>寺町空町町並み保存対策調査の実施(現地調査3回)</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた調査や地元説明会の実施が困難となった。</li> </ul> <p>[評価等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町並みの外観目視調査と寺社の実測調査を中心に行った。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、当初の計画どおりに事業実施ができなかったため、文化庁と協議の上で事業期間を延長する必要がある。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容 大学等研究機関に委託し、町並み保存対策調査を実施する。その結果を踏まえ、対象地域の中から保存地区を決定する。</li> <li>対象地域 高山市大門町、桜町、下一之町、鉄砲町、若達町、愛宕町、天性寺町、宗猷寺町、吹屋町、堀端町、馬場町 他</li> </ul> <p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通年 調査、地元向けの調査結果説明会の実施</li> </ul>	



事業シート(令和2年度決算)

事業名	94760 歴史遺産等保存活用事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史文化遺産の活用や歴史街道の整備等により、郷土の歴史や文化を次代に伝える。</li> <li>文化財指定されていない文化遺産や郷土の歴史文化などの保存、継承を支援するための制度を創設する。</li> <li>記念物を良好な状態で保存管理するための環境を整備する。</li> <li>美しいふるさと認証制度による郷土愛の醸成や保護活動を促進する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史街道の調査・整備を行う。</li> <li>伝統的建造物及びその周辺環境や無形文化遺産の調査、記録を行う。</li> <li>ふるさと伝承記録として、伝承芸能等の映像記録を制作する。</li> <li>文化財標柱・説明看板等を整備する。</li> <li>美しいふるさと認証団体を募集し認証する。</li> </ul>
----	---	----	--

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H31		R2			増減 (b)-(a)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	
		11,700	8,916	6,230	6,230	5,093	△ 3,823
特定財源	国費 ( 国宝重要文化財保存活用事業補助金1/2 )	1,050	825	270	276	276	△ 549
	県費 ( )		1,050				△ 1,050
	その他 ( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )	1,900	1,510	2,800	2,700	2,700	1,190
一般財源		8,750	5,531	3,160	3,254	2,117	△ 3,414
個票枝番	主な事業内容						
	ふるさと伝承記録制作	1,000	256	1,000	1,000	0	△ 256
	歴史講座の開講	350	123	300	300	150	27
	歴史遺産、伝統文化保存活用事業	1,250	1,367	1,180	1,180	1,272	△ 95
	歴史街道調査・整備	1,000	941	500	500	434	△ 507
	日本遺産の活用	4,000	2,720	2,700	2,700	2,698	△ 22
	市指定文化財の国指定に向けた調査	2,100	1,650	550	550	539	△ 1,111
	高山祭屋台等の復刻・保存に向けた調査	2,000	1,859				△ 1,859

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		3,000
要求額	財務部査定額	市長査定額 (d)	増減 (d)-(c)	
5,165	5,130	5,130	△ 1,100	
			△ 270	
			△ 2,800	
5,165	5,130	5,130	1,970	
査定額	説明			
1,000				
290				
3,840				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>美しいふるさと認証 4団体</li> <li>天然記念物保護管理(臥龍のサクラ、小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群)</li> <li>文化財説明看板等製作 4箇所</li> <li>市指定文化財の国指定に向けた調査</li> <li>ふるさと伝承記録制作 1件(飛騨東照宮おかめ舞獅子舞)(歴史的風致維持向上委員会にて実施)</li> <li>無形文化遺産、日本遺産の活用(屋台蔵前看板の更新25箇所、日本遺産講演会「飛騨匠フォーラム」開催)</li> <li>歴史街道位山道の整備</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の貴重な歴史遺産の保護・保存が図られ、郷土学習への活用や伝統文化の継承、保護意識の高まりがみられた。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語化表記の普及も踏まえつつ、計画的な説明看板等の設置を全市的に行っていく。</li> <li>引き続きふるさと伝承記録として、地域の貴重な無形民俗文化財等の伝承記録を制作する。</li> <li>引き続き美しいふるさと認証団体の募集と認証を行う。</li> <li>歴史街道整備については、今後も計画的に実施する。</li> <li>日本遺産の活用を推進する。</li> <li>市指定文化財の国指定に向けた調査の成果をまとめる。</li> </ul>	

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>美しいふるさと認証 5団体</li> <li>天然記念物保護管理(臥龍のサクラ、小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群)</li> <li>文化財説明看板等製作 1箇所</li> <li>「語り部養成講座」を3回(6講座)開講(延べ109名参加)</li> <li>旧野麦街道の整備</li> <li>高山城VR展示の作成</li> <li>『料亭洲さき建造物調査報告書』の刊行</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の貴重な歴史遺産の保護・保存が図られ、郷土学習への活用や伝統文化の継承、保護意識の高まりがみられた。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語化表記の普及も踏まえつつ、計画的な説明看板等の設置を行う。</li> <li>引き続き地域の貴重な無形民俗文化財等の伝承記録を制作する。</li> <li>引き続き美しいふるさと認証団体の募集と認証を行う。</li> <li>整備した歴史街道の活用を図る。</li> <li>日本遺産の活用を推進する。</li> <li>市指定文化財の国指定に向けた手続きを進める。</li> <li>歴史講座を通じて、市民の歴史文化に対する理解を醸成する。</li> </ul>	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統文化や文化財等の調査・記録による保存・継承と活用に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおり</li> </ul>

事業シート(令和2年度決算)

事業名	94770 高山祭屋台保存修理事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・江戸時代から続く日本有数の祭の一つとして数えられる高山祭の宝として、後世に残していく。	概要	・高山祭屋台及び屋台蔵について、緊急に修理が必要なものから順次修理を行う。
----	--	----	---------------------------------------

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	75.7%	74.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		39,722	35,850	40,000	40,000	36,482	632
特定財源	国費(高山祭屋台等保存修理事業費1/2)	17,929	17,924	20,000	20,000	18,240	316
	県費(無形文化遺産保存修理事業補助金)	5,000	5,000	5,000	5,000	2,780	△ 2,220
	その他(高山祭屋台等保存修理事業費寄附金、寄附金(ふるさと納税))	4,600	4,084	4,100	4,100	10,995	6,911
一般財源		12,193	8,842	10,900	10,900	4,467	△ 4,375
個票枝番	主な事業内容						
	高山祭屋台・屋台蔵の修理	40,000	35,850	40,000	40,000	36,482	632

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		40,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
39,465	39,850	39,850	△ 150	
19,732	19,900	19,900	△ 100	
1,500	1,500	1,500	△ 3,500	
3,946	3,900	3,900	△ 200	
14,287	14,550	14,550	3,650	
査定額	説明			
39,850				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・大国台、宝珠台、神馬台、布袋台、鳩峯車 修理 ・三番受屋台蔵 修理
評価等	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・宝珠台、神馬台 修理 ・豊明台屋台蔵 修理
評価等	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・国指定重要有形民俗文化財高山祭屋台及び屋台蔵の計画的な保存修理の実施に必要な経費を計上 ・屋台修理技術等の継承に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和2年度決算)

事業名	94780 市史編纂事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	7	文化財費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2977							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・郷土の歴史を次代に伝える。	概要	・高山市史の編纂、刊行 ・編纂調査成果の公開、活用
----	----------------	----	------------------------------

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	75.7%	74.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H31		R2			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		10,418	9,719	5,624	5,624	4,736	△ 4,983
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他(市史編纂事業雑入)	500	437	500	498	61	
一般財源		9,918	9,282	5,124	5,124	4,238	△ 5,044
個票枝番	主な事業内容						
	新高山市史の編纂、発行	10,018	9,703	5,504	5,504	4,704	△ 4,999
	古文書解読等指導	400	16	120	120	32	16

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
5,143	5,124	5,124	△ 500
500	500	500	0
4,643	4,624	4,624	△ 500
査定額	説明		
4,924			
200			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・市史本編として「高山祭・民俗文化編」1巻300冊を発刊した。
評価等	・市史編纂の調査成果を活用した講座等の開催により、市民の郷土の歴史文化に対する関心を高めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・市史本編として「飛驒の山岳と自然の恵み編」1巻300冊を発刊した。
評価等	・市史編纂の調査成果を活用した講座等の開催により、市民の郷土の歴史文化に対する関心を高めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・市史発刊のために必要な経費を計上 ・市史に関する講演会や講座の開催に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度決算)

事業名	94800 飛騨高山まちの博物館管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画画		教育振興基本計画		
			目	8	文化財施設費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2977								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や観光客が気軽に集い憩う中で、城下町高山の歴史や文化に触れることにより、郷土愛の醸成を図る。</li> <li>観光客に高山の歴史を感じてもらうことで高山の魅力を知ってもらい、リピーターを増やす。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>城下町高山を中心とした歴史文化について、資料収集や調査研究、展示、教育普及などの活動を行う。</li> </ul>
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	75.7%	74.3%	↗
飛騨高山まちの博物館の来館者数(年間)	195,859人	89,466人	232,000人
飛騨高山まちの博物館の公開可能な歴史資料の件数	22,865件	22,956件	27,532件

2.事業の実施結果等(Do)

		H31			R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		30,193	26,655	19,590	19,590	15,808	△ 10,847
特定財源	国費( )						
	県費( )		16				△ 16
	その他(文化財施設使用料)	45	24	45	45	10	△ 14
一般財源		30,148	26,615	19,545	19,545	15,798	△ 10,817
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山まちの博物館の管理運営・特別展の開催	26,193	22,715	19,590	19,590	15,808	△ 6,907
	施設整備	4,000	3,940				△ 3,940

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		20,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
26,626	20,125	20,125	535	
4	40	40	△ 5	
26,622	20,085	20,085	540	
査定額	説明			
20,125				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別展、企画展を開催 5回</li> <li>歴史講座、体験教室等を開催 17回</li> <li>施設利用者数 来館者数 195,859人 研修室利用者数 4,540人</li> <li>永田門及び土塀屋根瓦の葺き替え修繕の実施</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土教育を推進する教育施設として、また伝統的建造物群や城下町景観重点地域などの歴史的風致の維持向上の拠点施設としての運営を行った。</li> <li>県博物館の移動展の実施</li> <li>来館者数は、開館以来最多の人数となった。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土の歴史資料の適正な保存と公開等による活用を図る。</li> <li>計画的に常設展のリニューアルを行う。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別展を開催 3回</li> <li>歴史講座等を開催 4回</li> <li>施設利用者数 来館者数 89,466人 研修室利用者数 2,866人</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土資料である陣屋文書や町会所文書を計画的に公開し、活用を図った。</li> <li>県博物館の移動展や特別展を実施することができた。</li> <li>学問・文学、美術展示室の常設展のリニューアルを行った。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土の歴史資料の適正な保存と公開等による活用を図る。</li> <li>計画的に常設展のリニューアルを行う。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土の歴史資料の適正な保存のために必要な経費を計上</li> <li>計画的に常設展のリニューアルを行うために必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和2年度決算)

事業名	94810 文化施設管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	8	文化施設費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2356							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土の歴史に対して、興味、関心を深め、文化財愛護意識を高めるとともに、郷土の歴史を次代に伝える。</li> <li>収蔵施設での文化財や歴史資料等の適正な保存・管理</li> <li>発掘調査等出土品の整理・調査研究や考古学関係の講座・学習会等の開催により、郷土の歴史に対する理解を深める。</li> <li>市有文化施設等の安全・安心な利用を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理による文化施設の運営</li> <li>文化財収蔵施設等の維持管理</li> <li>風土記の丘学習センター等の管理運営</li> </ul>
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	75.7%	74.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31		R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	56,106	54,356	54,601	54,601	53,173	△ 1,183
特定財源						
国費( )						
県費( )						
その他(敷地占用料)	3,694	3,429	2,494	2,494	2,529	△ 900
一般財源	52,412	50,927	52,107	52,107	50,644	△ 283
個票枝番	主な事業内容					
	文化施設の管理	52,606	51,100	52,601	51,204	104
	施設整備	3,500	3,256	2,000	1,969	△ 1,287

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		53,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
57,643	52,731	52,731	△ 1,870	
194	194	194	△ 2,300	
57,449	52,537	52,537	430	
査定額	説明			
52,731				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理7施設入館者数 214,072人</li> <li>風土記の丘学習センター夏休み縄文体験講座の開催 参加者 土器づくり講座 47人 勾玉づくり講座 107人</li> </ul>
評価等	資料の収集、展示等を通して、郷土の歴史に触れる場の提供ができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の機能強化や展示等の充実を図り、郷土の歴史に親しめる環境づくりを行う。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理7施設入館者数 77,252人</li> <li>風土記の丘学習センター夏休み縄文体験講座の開催 参加者 土器づくり講座 24人 勾玉づくり講座 47人</li> </ul>
評価等	資料の収集、展示等を通して、郷土の歴史に触れる場の提供ができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の機能強化や展示等の充実を図り、郷土の歴史に親しめる環境づくりを行う。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化施設の管理運営に必要な経費を計上</li> <li>風土記の丘学習センターの活用の充実に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
-------------------	---------

市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに
--------------	------------

事業シート(令和2年度決算)

事業名	94830 飛騨高山まちの体験交流館管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・大自然への発着拠点である奥飛騨温泉郷エリアや伝統文化への発着拠点である高山駅を含む中心市街地エリアの観光拠点機能(観光ハブ拠点機能)の強化を目指します。 ・多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	8	文化財施設費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2977								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・体験型の施設として運営することにより、「学び」を主体とする飛騨高山まちの博物館と一体的な機能を発揮し、伝統文化伝承の拠点として歴史的風致の維持及び向上を目指す。	概要	・伝統的工芸品などの実演、体験、展示並びに文化体験等の実施 ・交流広場の提供による特産品PRイベントやまちなか活性化イベント等の実施
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	75.7%	74.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31		R2				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	23,623	22,270	20,310	20,310	19,470	△ 2,800	
特定財源							
国費( )							
県費( )							
その他(文化財施設使用料)	435	441	435	435	433	△ 8	
一般財源	23,188	21,829	19,875	19,875	19,037	△ 2,792	
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山まちの体験交流館の管理運営	23,623	22,270	20,310	20,310	19,470	△ 2,800

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		21,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
20,546	20,160	20,160	△ 150	
480	440	440	5	
20,066	19,720	19,720	△ 155	
査定額	説明			
20,160				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・施設利用者数 来館者数 168,238人 研修室利用者数 724人 交流広場利用者数 15,054人 ・実演、体験実績 6,771人 ・交流広場イベント 13件
評価等	・市民・観光客の交流と回遊性の向上を図る施設として利用促進に努め、実演、体験の運営や交流広場を利用したイベントが実施された。 ・伝統産業や市指定無形文化財の有造しやくし、宮笠などの伝統文化の実演・体験を実施し、伝統文化の振興が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定 ・伝統産業や伝承芸能などの振興、市民・観光客の交流と回遊性の向上を図る施設として、実演、体験の実施や交流広場のイベント利用の促進に努める。

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・施設利用者数 来館者数 96,034人 研修室利用者数 597人 交流広場利用者数 6,214人 ・実演、体験実績 4,251人 ・交流広場イベント 10件
評価等	・伝統産業や市指定無形文化財の有造しやくし、宮笠の他、新たに小屋名しようけの伝統文化の実演・体験を実施し、伝統文化の振興を図った。 ・教育旅行等に対する飛騨高山まちの博物館との一体的な活用を進めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定 ・民間の経営ノウハウを活かし、立地や環境を活用した事業展開や、効率的な施設運営を行うため指定管理者制度の導入を検討する。

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨高山まちの体験交流館の運営に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに